

# いわた IWATA 市議会だより

平成21年

2009

2月1日発行

No.19

編集／議会報編集委員会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>  
電話(0538)37-4822 FAX(0538)37-4845



小学生と園児の交流（豊田北部小学校、豊田北部幼稚園）

## 11月定例会

市議会は、平成20年11月定例会を11月21日から12月17日までの27日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の平成20年度一般会計補正予算や病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例など15議案について慎重に審議しました。その結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

なお、代表質問は、12月1日・2日の両日にわたり各会派を代表して5名の議員が、一般質問は、12月3日に5名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをたどりました。

## 主な内容

- 一般会計補正予算（説明）……………（ページ）2
- 代表質問……………3
- 一般質問……………6
- 審議結果一覧表、2月定例会の予定……………8

## 一般会計補正予算を可決

今回の補正は、歳入歳出予算に1億2,509万6千円を追加し、総額を619億936万円とするものです。

主な内容は、①人事異動に伴う人件費の補正、②産休代替等に伴う臨時職員賃金の補正、③課の配置がえに伴う経費の補正、④法人市民税等の還付額が不足する見込みによる過年度市税還付金の増額、⑤税制改正によるシステム改修に伴う経費の増額、⑥19年度決算等による国庫補助金等や他会計繰出金の精算等です。

全会一致により可決。

## 病院事業の設置等に関する条例の一部改正を可決

本条例は、20年4月に広告可能な診療科名に関する政省令の改正が実施されたことから、市立総合病院の診療科目を改正し、23科から45科とするものです。

政省令の改正により、診療科目が従来の限定された名称から、身体の部位や患者の疾

患等、一定の性質を有する名称を診療科名とする柔軟な方式に改められました。このため、自分の病状等に合った適切な医療機関の選択を支援する観点から見直しを行うものです。また、呼吸器科、消化器科、循環器科は改正後の政省令の規定に合わないため、それぞれ呼吸器内科、消化器内科、循環器内科と改正するものです。

45の診療科は、21年4月1日において、診療が可能と見込まれる診療科を規定したものです。

この条例の施行日は、21年4月1日です。

全会一致により可決。



## 市立総合病院の診療科目の改正

現行	改正案
(1) 内科	(1) 内科 ※
(2) 精神科	(2) 精神科 ※
(3) 神経内科	(3) 神経内科 ※
(4) 呼吸器科	(4) 呼吸器内科 ※
(5) 消化器科	(5) 感染症内科
(6) 循環器科	(6) アレルギー科
(7) リウマチ科	(7) 消化器内科 ※
(8) 小児科	(8) 循環器内科 ※
(9) 外科	(9) リウマチ科 ※
(10) 整形外科	(10) 小児科 ※
(11) 形成外科	(11) 小児科 (神経)
(12) 脳神経外科	(12) 小児科 (内分泌)
(13) 呼吸器外科	(13) 小児科 (心臓)
(14) 心臓血管外科	(14) 小児科 (アレルギー疾患)
(15) 皮膚科	(15) 小児科 (新生児)
(16) 泌尿器科	(16) 血液内科 ※
(17) 産婦人科	(17) 腎臓内科 ※
(18) 眼科	(18) 糖尿病・内分泌内科
(19) 耳鼻いんこう科	(19) 外科 ※
(20) リハビリテーション科	(20) 消化器外科 ※
(21) 放射線科	(21) 消化器外科 (肝臓・胆のう・膵臓)
(22) 麻酔科	(22) 消化器外科 (食道・胃腸)
(23) 歯科口腔外科	(23) 消化器外科 (大腸・肛門)
	(24) 乳腺外科
	(25) 血管外科 ※
	(26) 小児外科 ※
	(27) 呼吸器外科 ※
	(28) 形成外科 ※
	(29) 整形外科 ※
	(30) 脳神経外科 ※
	(31) 皮膚科 ※
	(32) 泌尿器科 ※
	(33) 産婦人科 ※
	(34) 眼科 ※
	(35) 耳鼻いんこう科 ※
	(36) リハビリテーション科
	(37) 放射線診断科 ※
	(38) 放射線治療科 ※
	(39) 麻酔科 ※
	(40) 救急科
	(41) 緩和ケア内科
	(42) 緩和ケア外科
	(43) 病理診断科
	(44) 臨床検査科
	(45) 歯科口腔外科 ※

〔※〕の26の診療科目は、平成21年4月1日に開設予定

## 委員会視察

各委員会は、所管する事項を調査するため先進都市へ行政視察を行いました。

### ○文教産業委員会

(20年10月21日～23日)

#### 視察事項

(1)千代田図書館  
(東京都千代田区)

(2)企業誘致施策  
(福島県須賀川市)

(3)アグリ特区  
(福島県喜多方市)

(4)グリーン・ツーリズム  
(福島県喜多方市)

(5)アグリ特区  
(福島県喜多方市)

(6)グリーン・ツーリズム  
(福島県喜多方市)

(7)グリーン・ツーリズム  
(福島県喜多方市)

(8)グリーン・ツーリズム  
(福島県喜多方市)

(9)グリーン・ツーリズム  
(福島県喜多方市)

○議会運営委員会  
(20年11月6日～7日)

#### 視察事項

(1)議会運営の状況

(2)議会改革・活性化の取り組み状況

(3)代表・一般質問での一問一答制

(4)議会活性化検討委員会  
(京都府亀岡市)

(5)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(6)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(7)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(8)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(9)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(10)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(11)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(12)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(13)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

(14)議会基本条例等の制定  
(三重県伊賀市)

# — 市政を問う — 代表質問

## 市長就任4年間の回顧

五和会 質問者 高安和雄 議員

**質問** 合併4年間の新磐田市の最高責任者として、本市が抱えている問題点は何か。

**答弁** 当地域は、合併後4年間は順調な経済環境下にあったが、一転して厳しい経済環境に変わろうとしている。合併に際して開始した事業には、終局に近づいた事業もあるが、多くが継続中である。財政状況に留意しつつ、これらをかかに完了させるのが、大きな課題であると認識している。

**質問** 本市の将来への思いを。  
**答弁** 本市は将来性に富む魅力的なまちであり、名実ともに県西部の中核都市として、ふさわしい都市になっていくことを心から願っている。

**質問** 正規職員の計画を上回る減員による、業務の負担増について伺う。

**答弁** 合併後、一般部門の職

員配置は、本庁と支所の役割分担を図り、支所から本庁への引き揚げを行った。また、指定管理者制度など民間活力を活用し業務量の減少を図る中で、退職者補充を抑制し、職員削減を実現している。こうした取り組みの中で、現在のところ、職員の業務の大きな負担増は生じていないと認識する。

**質問** 南部救急医療問題について、新都市クリニックスとの協定締結への進捗状況は。  
**答弁** 20年度は、救急医療事業の実施及び公的支援について法人側と協議を進め、年度末を目前に協定の締結を目指し、現在、協議している。医師の確保が難しく、救急医療の実施は、なかなか困難であると聞いている。

**質問** 新市街地整備のうち、

新貝、鎌田第一、豊岡駅前前の土地区画整理事業に、どのような支援をしてきたか。

**答弁** 東部地区は、新駅設置を核とした新しい都市機能を整備するため、東部・新貝・鎌田地区あわせて約百haの区画整理事業の推進を支援している。新貝土地区画整理事業の事業進捗率は50%を超え、

鎌田第一土地区画整理事業も、21年度の組合設立を目標に地権者説明会が予定されている。豊岡駅前区画整理は、19年に組合を立ち上げ、事業進捗率も40%に達した。

**質問** これらの土地区画整理支援事業の今後の見通しは。  
**答弁** 将来都市構造の核となる(仮称)鎌田新駅と新たな定住拠点となる東部地区の基盤整備、そして、北の玄関口



新貝土地区画整理事業

としての良好な新市街地形成の整備を図る豊岡駅前区画整理は、本市全体の発展にとって重要な事業と認識している。今後とも、地元と一体となり、できる限りの支援をしていく。

**質問** 豊田・高見丘地域の公共施設(公民館)用地として先行取得した、土地の利用についての考えは。

**答弁** 旧豊田町時代に買収をした畑5筆は、土地区画整理事業により、東名高速道路沿いの住宅地に仮換地指定されている。この敷地は、21年の初夏に(仮称)ららぽーと磐田がオープンするので、駐車場として貸与していきたい。公民館等の必要性は十分理解しているが、全市的な均衡も考え、課題として検討する必要があると認識している。

**質問** 目的税である都市計画税の使い方と、新しい納税者への周知方法について伺う。

**答弁** 街路や公園等の都市施設の整備に係る事業費や、土地区画整理事業のうち的一般財源分、公共下水道事業特別会計への繰出金のうちの起債の償還分等に充当している。新たに課税をされる竜洋地区5、074件と豊岡地区21件

に対象物件等を記載したお知らせを11月に発送した。全市には広報に掲載した。今後とも広報紙に掲載し周知を図る。

## 会派名簿

(平成20年12月1日現在)  
(◎代表者)

◇五和会

◎高安和雄 宮澤博行

野崎正藏 鈴木正孝

早川勝次 加藤治吉

鈴木晴久 河島直明

鈴木昭二 寺田仁一

川村孝好 岡 實

佐々木信仁 藤森康行

石野 泉 増田暢之

馬淵源一 山田安邦

大庭隆一 小木秀市

元場千博 桑原全太郎

◇開誠会

◎渡部 修 田之上康成

八木啓仁 寺井信男

◇公明党磐田

◎小野泰弘 鈴木喜文

山際今子

◇日本共産党磐田市議団

◎稲垣あや子 根津康広

高梨俊弘

◇未来

◎玉田文江 川崎和子